

讃歌・緑と水と太陽 櫻井孝美展

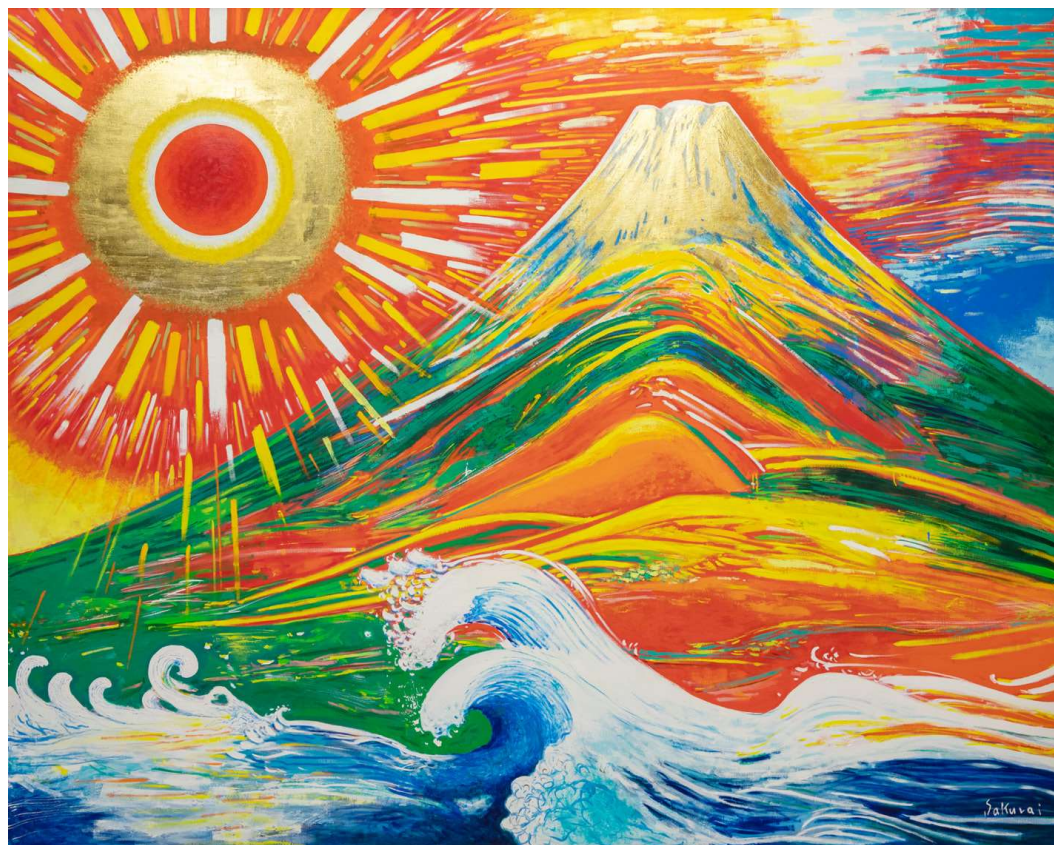
富士の美しさを讃美する

河口湖美術館が企画・主催する櫻井孝美展が4月19日からスタートす

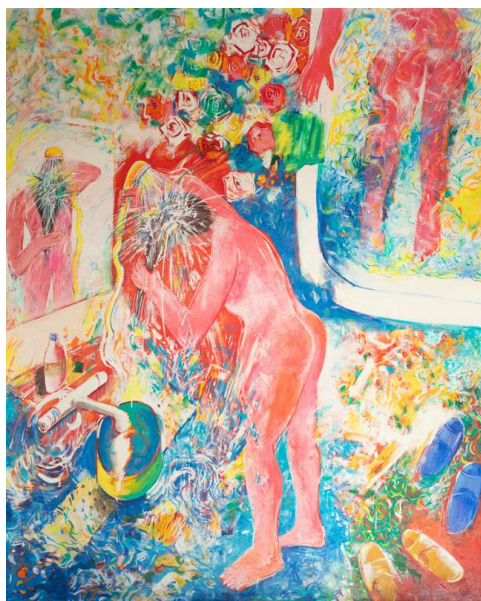
る。2部構成の第1章では大学時代の作品から、安井賞受賞前後までの作品を展覧。第2章では画家の生活から切り離すことのできない富士山

を描いた作品を中心に、併せて80点ほどを展覧する。

埼玉県に生まれた画家は、大学卒業と同時に山梨県職員として富士吉



「緑と水と太陽・旺」2016年



「外れた夏」2003年



「パリ・太陽・サクレ・クール」2006年

4月19日(土)～8月31日(日)
河口湖美術館
山梨県南都留郡富士河口湖町河口3170
☎0555(73)8666

今日まで描き続けている。また、安井賞受賞作「1986・1987夏」などに見られる家族の日常風景を描いた作品も、そのどこか温かみのある情景がノスタルジーを誘い、多くの鑑賞者の心を癒やしている。昨年に傘寿を迎えた画家の画業を振り返る重要な機会として、櫻井作品のファンならずとも必見の展覧会となりそうだ。

さくらい・たかよし

1944年埼玉県生まれ。68年日大芸術学部卒。76年土日会結成に参加(以後毎回)。85年東京セントラル美術館油絵大賞展大賞、87年昭と会賞、88年安井賞他受賞多数。2015年画集刊行(生活の友社)。現在土日会代表。